



2023年6月14日

各 位

会 社 名 パーク24株式会社
 代表者名 代表取締役社長 西川 光一
 (コード：4666、東証プライム市場)
 問合せ先 執行役員経営企画本部長 實貴 孝夫
 (TEL：03-6747-8120)

2023年10月期第2四半期業績予想と実績との差異及び営業外費用（為替差損）の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年12月15日に公表しました2023年10月期第2四半期（累計）連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じました。また、2023年10月期第2四半期連結累計期間（2022年11月1日～2023年4月30日）において、営業外費用（為替差損）を計上いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

あわせて、2023年10月期 通期連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）を修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2023年10月期第2四半期業績予想と実績との差異（2022年11月1日～2023年4月30日）

(1) 連結業績予想と実績の差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益又は損失	1株当たり 四半期純利益 又は損失
前回発表予想(A)	百万円 155,000	百万円 11,500	百万円 9,500	百万円 5,500	円 銭 32.25
実績(B)	157,078	15,097	11,493	7,979	46.80
増減額(B-A)	2,078	3,597	1,993	2,479	14.55
増減率(%)	1.3%	31.3%	21.0%	45.1%	45.1%
(ご参考) 前期第2四半期実績(2022年10月期第2四半期)	135,891	5,556	3,948	△630	△4.08

(2) 差異が発生した理由

2023年10月期第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は前回発表予想（2022年12月15日公表）における想定よりも新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の影響が限定的であり、特にモビリティサービスの稼働が好調に推移したことで前回発表予想を上回りました。営業利益については、売上高の差異に加え、感染症禍で継続して取り組んできた事業の筋肉質化などの効果により営業費用が想定以上に抑制できたことで前回発表予想を上回りました。経常利益については、営業外費用として為替差損を計上（2. 営業外費用（為替差損）の計上にて後述）したものの、前回発表予想を上回っております。親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益の差異に加え、主に特別利益として投資有価証券売却益を計上したことなどにより前回発表予想を上回りました。

2. 営業外費用（為替差損）の計上

(1) 営業外費用（為替差損）の内容

為替相場の変動により 2023 年 10 月期第 2 四半期連結累計期間（2022 年 11 月 1 日～2023 年 4 月 30 日）において、為替差損 1,737 百万円を計上いたしました。これは主に英国現地法人に対する外貨建貸付金の当第 2 四半期連結会計期間末為替相場による評価替えに伴い発生したものです。

(2) 業績に与える影響

上記の営業外費用につきましては、本日公表の「2023 年 10 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

3. 2023 年 10 月期 通期連結業績予想の修正（2022 年 11 月 1 日～2023 年 10 月 31 日）

(1) 連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	323,000	27,000	23,000	13,000	76.24
今回修正予想(B)	326,000	31,500	25,500	14,500	85.03
増減額(B-A)	3,000	4,500	2,500	1,500	8.79
増減率(%)	0.9%	16.7%	10.9%	11.5%	11.5%
(ご参考)前期実績 (2022 年 10 月期)	290,253	20,672	16,970	2,476	15.22

(2) 修正の理由

2022 年 12 月 15 日に公表しました 2023 年 10 月期通期連結業績予想につきましては、感染症の影響が前連結会計年度に比べて軽減する想定のもと、各事業において感染症禍で培ったノウハウを活かし筋肉質化した体質を維持したまま事業規模の拡大を進めることで、売上高および各段階利益ともに増収増益を見込んでおりました。

当第 2 四半期連結累計期間（2022 年 11 月 1 日～2023 年 4 月 30 日）の実績を踏まえ、当第 3 四半期連結会計期間以降も国内事業を中心に好調なサービスの稼働および事業の筋肉質化による営業費用の抑制効果が継続することを想定しております。一方で、物価上昇などによる一部費用の増加を見込んでおります。

以上を踏まえ、各段階利益が前回発表予想を大きく上回る見通しとなったため、上記の通り通期連結業績予想の修正を行いました。

(注意事項)

本資料に掲載しております予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上